

三原市公共施設類型別実施計画（案）
【市民文化系施設（文化施設）編】

1 施設配置



No.	施設名
1	芸術文化センター
2	本郷生涯学習センター
3	くい文化センター
4	大和文化センター
5	市民ギャラリー
6	三原リージョンプラザ

2 施設データ（平成 29 年度の実績を記載し、収入・支出は臨時的なものを含む。経過年数は平成 30 年時点）

施設名	地域	建築年 (年)	経過年 数(年)	延床面 積(m ²)	運営	支出 (千円)	収入 (千円)	収支 (千円)	利用者数 (人)	m ² 当 収支 (円/m ²)	利用者 当収支 (円/人)
芸術文化センター	三原	2007	11	7,422	指定管理	206,732	54,934	△151,798	92,588	△20,452	△1,639
本郷生涯学習センター	本郷	2004	14	4,968	直営	40,759	3,778	△36,981	77,134	△7,444	△479
くい文化センター	久井	2004	14	1,805	直営	19,691	165	△19,526	5,519	△10,818	△3,538
大和文化センター	大和	1989	29	1,367	直営	27,203	160	△27,043	16,624	△19,783	△1,627
市民ギャラリー	三原	1981	37	1,250	直営	17,241	737	△16,504	28,990	△13,203	△569
リージョンプラザ	三原	1984	34	14,359	指定管理	137,678	34,587	△103,091	288,011	△7,180	△358

ホール（舞台）

施設名	座席数 (席)	利用者数 (人)	稼働率 (%)	利用率 (%)
芸術文化センター	1,209	61,741	38%	46%
本郷生涯学習センター	512	14,004	18%	29%
くい文化センター	308	1,874	3%	5%
大和文化センター	353	6,052	8%	13%
三原リージョンプラザ	410	26,981	27%	31%

ギャラリー（展示ホール）

施設名	諸室名	面積 (m ²)	利用人数 (人)	稼働率 (%)	利用率 (%)
本郷生涯学習センター	展示ギャラリー	261	4,878	8%	17%
	多目的ホール	216		28%	38%
市民ギャラリー	ギャラリー1	158	28,990	65%	68%
	ギャラリー2	117		61%	63%
三原リージョンプラザ	展示ホール	428	15,889	46%	47%

稼働率・・・条例上の利用可能コマ数から使用コマ数を割り戻した使用率

利用率・・・開館日数から使用日数を割り戻した使用率

3 現状・課題

(1) ホール

- ・合併以前に 1 市 3 町の行政区域ごとに設置され、全体で 5 施設あり特に中規模ホールは 4 施設あり、本市の人口規模に対して多い状況である。
- ・各ホールの利用率が 5%～46%と施設により利用状況に差がある。また、設備等については、全ての施設で経年劣化に伴う修繕が必要となっている。

ア 芸術文化センター

- ・市民の芸術文化の振興及び市民の相互交流を図り、芸術文化活動の拠点及び憩いの場とすることを目的として設置している。

- ・施設は、宮浦公園の敷地にあり、平成19年度建築で建築後11年が経過し、新耐震基準により整備されている。
- ・市内5ホールでは最も収容人数の多い1,209人である。ホールに付随する諸室としては、楽屋5室、リハーサル室、練習室2室、会議室2室、レストラン等がある。
- ・指定管理者が芸術文化の発信・活動の拠点として管理運営している。自主事業としてオーケストラ・コンサート・演劇等の公演を開催し、また貸館も行っている。公演等の来場者は、市外からの来場者も多く、また中四国地方ではポポロのみ開催という公演もあり、質の高い芸術に触れる機会を提供している。
- ・ホールの利用率は、46%で市内5ホールの中で最も高くなっている。

イ 本郷生涯学習センター(にいたかホール)

- ・住民の教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図り、生活文化の振興及び社会福祉の増進に寄与することを目的として設置している。
- ・施設は、本郷南六丁目に立地し、平成16年度建築で新耐震基準により整備され建築後14年が経過している。
- ・本郷地域の生涯学習拠点施設としての役割を担っており、ホールに付随する諸室は楽屋2室があり、複合施設の別棟に図書館と研修室等の貸室がある。
- ・生活文化の振興及び社会福祉の増進拠点として、集会や発表の場として、また貸館も行っている。
- ・来場者は、市内各所からあり、座席数や駐車スペースが確保しやすく、本郷駅から徒歩圏内と利便性が高く、条件が良い施設となっている。
- ・ホールの利用率は、29%で市内5ホールの3番目の利用状況である。

ウ くい文化センター(高原ホール)

- ・住民の教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図り、生活文化の振興及び社会福祉の増進に寄与することを目的として設置している。
- ・施設は、久井町和草に立地し、平成16年度建築で新耐震基準により整備され建築後14年が経過している。
- ・久井地域の生涯学習拠点施設としての役割を担っており、ホールに付随する施設は楽屋が2室あり、その他に図書館がある複合施設である。
- ・生活文化の振興及び社会福祉の増進拠点として、集会や発表の場、また貸館も行っている。利用者は、久井町内の来場が多くなっている。
- ・ホールの利用率は、5%で低調である。

エ 大和文化センター(クレオホール)

- ・住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として設置している。
- ・施設は、大和町下徳良に立地し、平成元年度建築で新耐震基準により整備され建築後29年が経過しており建物や設備の老朽化が進んでいる。
- ・大和地域の生涯学習拠点施設としての役割を担っており、ホールに付随する諸室は楽屋

が1室あり、その他に会議室、図書館等がある複合施設である。

- ・生活文化の振興及び社会福祉の増進拠点として、集会や発表の場、また貸館も行っている。利用者は、大和町内の来場が多くなっている。
- ・施設の老朽化により修繕の必要性があり、今後多額の更新費用が必要となる。
- ・ホールの利用率は、13%で市内5ホールの4番目の利用状況である。

オ 三原リージョンプラザ(文化ホール)

- ・三原広域市町村圏の圏域の文化、スポーツ等の増進に寄与することを目的として設置している。
- ・市本庁舎に隣接し、建築後31年が経過している。施設の管理は、指定管理者が担い、410人収容のホールに付随する諸室としては楽屋1室、リハーサル室、練習室3室があり、その他に主・副体育館や温水プール、展示ホールや娯楽音楽室・軽運動室等がある複合施設である。
- ・文化・スポーツ等の発信・活動の拠点として、演劇・音楽会・映画等の公演やスポーツ大会開催の他、貸館も行っており、来場者は市内各所からある。
- ・ホールの利用率は、31%と市内5ホールの中で2番目の利用状況である。

(2) ギャラリー

- ・芸術美術品を展示するためのパネル、展示台、展示ケース、照明などを有する施設をギャラリーと定義し、常時、ギャラリー専用のスペースとして開放していないホワイエ等のスペースはギャラリーに含めないこととする。
- ・三原リージョンプラザ展示ホール、市民ギャラリー、本郷生涯学習センター展示ギャラリーがギャラリーに該当し、文化芸術活動の発表・展示の場としている。

ア 本郷生涯学習センター(展示ギャラリー)

- ・地域住民の絵画等の作品展示に利用されている。
- ・展示ギャラリーの利用率は17%と低い。

イ 市民ギャラリー

- ・住民の教養の向上及び生活文化の振興に寄与することを目的として設置している。
- ・建築後37年が経過しているペアシティ三原西館の2階に平成16年度に開設した施設である。
- ・市民作品を展示・鑑賞できる貸館施設としてギャラリー1・2、多目的ホールの3諸室があり、利用率は、38~68%と諸室によって差が出ている。

ウ 三原リージョンプラザ(展示ホール)

- ・展示ホールは、美術館の無い本市にとって企画展覧会や市美展・県美展等を開催する最大の施設であり、優れた芸術作品を鑑賞できる展示施設となっている。
- ・展示ホールの利用率は、47%と高い利用状況である。
- ・展示設備が古い仕様で仕切りパネルの重量が重いため設営が難しい等、設備の面で課題

があるなど、施設の老朽化も進んでおり、対策も必要となっている。

- ・施設構造及び防犯設備の観点から、展示したい作品の所有者から展示承諾が得られない場合がある。

4 ホールのあり方

ホールには、客席、舞台、楽屋等が備え付けられているが、音響・照明設備などの舞台装置のメンテナンスや更新には多額の費用を要する。本市においては、5つのホールがあり、そのうち客席数が同程度の中規模ホールが4施設あるなど、これら全てについて高度なホール機能を維持することは、市の規模からも過大であり、財政的にみても困難である。ホールが持つ機能としては高度舞台芸術鑑賞機会の提供と市民活動発表の場の提供があり、それぞれの機能により分類し、役割分担、利用状況に応じた維持管理・運営を行う。

(1) 高度舞台芸術鑑賞機会の提供

- ・市民に音楽（ポップス、クラシック等）、演劇、舞踊等の高度な舞台芸術の鑑賞機会を提供する。

（目的）

- ・芸術性の高い舞台芸術に親しむことで教養の向上と情操の純化を推進し、芸術文化の振興を通じた市民の相互交流の増進を図るため。

（条件）

- ・国内外からの出演者の要望に対応できる舞台装置、適切な広さを備えた舞台が必要である。
- ・大規模な公演に対応可能な客席数、楽屋数やホワイエ等の充実が必要である。
- ・小規模な公演等にも対応可能な小ホールが必要である。

(2) 市民活動発表の場の提供

- ・市民が生涯学習や文化活動の成果を発表する場を提供する。

（目的）

- ・芸術文化や生涯学習の活動を通じ、自身の活動に対する満足度向上や創作意欲向上を図り、心身の健康、社会福祉の増進等に寄与するため。

（条件）

- ・一定程度の舞台装置や客席数が必要である。
- ・中程度の舞台装置が整ったホールは、市内に1カ所程度必要である。
- ・比較的低額な利用料金設定が必要である。

5 ホールの実施方針

(1) 高度舞台芸術鑑賞機会の提供

- ・大規模な公演等に対応するための大ホールは、高度な舞台装置、多くの客席数を有する「芸術文化センター」とする。
- ・「芸術文化センター」にない小・中規模な公演等に対応するためのホールは、利用状況や施設の近接性による連携のしやすさを踏まえ、「三原リージョンプラザ(文化ホール)」と

する。

- ・この2施設については、長寿命化計画等を策定し、機能維持に必要な設備投資とともに、指定管理者との連携による高度舞台芸術鑑賞機会を提供する。

(2) 市民活動発表の場の提供

- ・高度舞台芸術鑑賞機会を提供するホールとして機能維持することとした2施設は市民活動発表の場の機能を内包する。
- ・「本郷生涯学習センター(にいたかホール)」「くい文化センター(高原ホール)」「大和文化センター(クレオホール)」の3施設は、舞台装置も引き続き使用できる状態であることから当面は継続し、利用状況や維持管理費、また施設・設備の老朽化を踏まえ、定期的(3年程度)に機能廃止を含めた見直しを行う。
- ・併せて、この3施設は、現状と同水準を維持するための設備更新ではなく、利用用途・利用状況に応じた水準の設備更新又は修繕とする。
- ・今後は、コミュニティセンターや公民館においても舞台を備えた施設があり、また舞台のない集会室でも練習等の利用は可能であるため、他の施設の活用も促進する。

6 ギャラリーのあり方

本市では、国宝級や国内外で有名な作品等を展示できる条件を備えた美術館がない。そのため、現在のギャラリーを高度芸術鑑賞機会の提供と市民作品発表の場の提供それぞれの役割により分類し、役割分担、利用状況に応じた維持管理・運営を行う。

(1) 高度芸術鑑賞機会の提供

- ・市民に国内外で有名な芸術作品等の高度な芸術の鑑賞機会を提供する。

(目的)

- ・芸術性の高い作品に親しむことで教養の向上と情操の純化を推進し、芸術文化の振興を通じた市民の相互交流や心身の健康、教養の向上、社会福祉の増進などを図るため。

(条件)

- ・企画展、市・県美展などの作品を展示するため、多くの出展数に対応する一定のスペースが必要である。
- ・大型作品を展示できる展示設備が必要である。

(2) 市民作品発表の場の提供

- ・市民が行う生涯学習や文化活動の成果として作品を発表する場を提供する。

(目的)

- ・芸術文化や生涯学習の活動を通じ、自身の活動に対する満足度向上や創作意欲向上を図り、心身の健康、社会福祉の増進等に寄与するため。

(条件)

- ・中程度の展示設備や広いスペースが必要である。
- ・公設のギャラリーとして市内に1カ所は必要である。
- ・比較的低額な利用料金設定が必要である。

7 ギャラリーの実施方針

(1) 高度芸術鑑賞機会の提供

- ・本市では美術館がないため高度な芸術作品を鑑賞する機会の提供は、市外の広域施設により連携して対応する。
- ・企画展，市・県美展等は，多くの作品数の展示や大型作品も展示できる「三原リージョンプラザ(展示ホール)」とする。
- ・この展示ホールについては，長寿命化計画等を策定し，機能維持に必要な設備投資をする。

(2) 市民作品発表の場の提供

- ・市民作品発表の場を提供する公設ギャラリーは1カ所とし，スペースや展示設備が充実し，低額な使用料で利用しやすい施設と位置づけ，「市民ギャラリー」で継続する。
- ・「本郷生涯学習センター(展示ギャラリー)」は利用状況から，展示ギャラリー専用の諸室としては廃止し，会議室，研修室としても使用できる多目的室へ用途変更をする。
- ・今後は，一般的な市民作品発表の場は，コミュニティセンターや公民館等空きスペースや民間施設の展示スペースなど，他の施設の活用も検討する。

8 個別施設の方向性

(1) ホール

施設名	方向性		説明
	機能	建物	
芸術文化センター (ホール)	継続	継続	芸術文化の発信・活動拠点として，鑑賞等の場を提供するとともに，質の高い芸術に触れる機会を提供する施設とする
本郷生涯学習センター (にいたかホール)	当面継続	当面継続	当面は機能を継続し，大規模改修を行う機会を捉え，機能，利用実績，地域性等を考慮しつつ，用途変更・統廃合を検討する
くい文化センター (高原ホール)	当面継続	当面継続	当面は機能を継続し，大規模改修を行う機会を捉え，機能，利用実績，地域性等を考慮しつつ，用途変更・統廃合を検討する
大和文化センター (クレオホール)	当面継続	当面継続	当面は機能を継続し，大規模改修を行う機会を捉え，機能，利用実績，地域性等を考慮しつつ，用途変更・統廃合を検討する
三原リージョンプラザ (文化ホール)	継続	継続	芸術文化の発信・活動の拠点として，建物・機能を継続する

(2) ギャラリー

施設名	方向性		説明
	機能	建物	
本郷生涯学習センター (展示ギャラリー)	廃止	用途 変更	展示ギャラリーとしての稼働は少ないため、展示ギャラリー専用の諸室としては廃止し、会議室、研修室としても使用できる多目的室へ用途変更する
市民ギャラリー	継続	継続	市民作品発表の場として機能を継続する。場所についてはペアシティ三原西館内で継続とする
三原リージョンプラザ (展示ホール)	継続	継続	芸術文化の発信・活動拠点として、建物・機能を継続する

9 年次計画

(1) ホール

施設名	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
芸術文化センター (ホール)	継続						→
本郷生涯学習センター (にいたかホール)	当面継続 (利用状況、施設・設備の老朽化を踏まえ定期的(3年程度)に廃止を含めた見直しを行う)						
くい文化センター (高原ホール)	当面継続 (利用状況、施設・設備の老朽化を踏まえ定期的(3年程度)に廃止を含めた見直しを行う)						
大和文化センター (クレオホール)	当面継続 (利用状況、施設・設備の老朽化を踏まえ定期的(3年程度)に廃止を含めた見直しを行う)						
三原リージョンプラザ (文化ホール)	継続						→

(2) ギャラリー

施設名	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
本郷生涯学習センター (展示ギャラリー)		多目的室へ 用途変更					→
市民ギャラリー	継続						→
三原リージョンプラザ (展示ホール)	継続						→